

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和2年 9月 1日

事業所名：ハーモニークロック

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	規定における、十分なスペースは確保している。	はい69%、どちらともいえない31%、 いいえ0%	
	2 職員の適切な配置	基準を満たす職員配置を行っています。	はい88%、どちらともいえない12%、 いいえ0%	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	活動スケジュールの視覚支援や、公共施設などを用いて一人一人の特性に応じた整備を行っています。	はい82%、どちらともいえない18%、 いいえ0%	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃除菌を毎日実施し、エアコンによる温度調整、空気清浄機を設置している。		衛生面の配慮を連絡帳を通してお伝えしていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	事務改善を行うための目標設定と振り分けのミーティングを実施している。職員全体の意識は高く、問題点があれば即座に改善している。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	利用者の個人情報を守るため、第三者への外部評価は行っていない。支援学校の教諭に指導を仰いでいる。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	県が主催する研修等に積極的に参加している。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントシートを作成し、保護者、児童のニーズの聞き取りを行い、それに基づきサービス計画を作成している。	はい94%、どちらともいえない6%、 いいえ0%	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	曜日や個人ごとにプログラムを設定し、一人一人に応じた計画を行っている。		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	職員における支援計画を行っている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供 （続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	日々のミーティングの中で職員と共有し適切な支援を行っている。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	活動プログラムは毎回立てて、個別と集団向きを見極め、安全に行っている。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、祝日、長期休暇に合わせて、一日のスケジュールを見直し、予定表の配布を行っている。	はい100%
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	プログラムに構築性を持たせて、児童一人一人に特性に応じた役割やテーマを決めて、楽しく参加できるようにしている。	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	事前に役割分担を決めて、その日の支援内容を確認している。児童対応への柔軟性を重んじ、療育の狙いがぶれない話し合いを行っている。	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	業務日報をつけて、児童の成長を記載し、話し合いの下に確認業務を行っている。	
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡帳に日々の支援内容を正確に記録し、業務日報で職員間で共有を行い、成長と配慮の話し合いを行っている、	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に保護者とのモニタリングを行い、職員間による計画の見直しを行っている。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	北区評議会へ参加し、話し合いを行っている。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	施設訪問を行い、支援内容の共有を行っている。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当なし	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	児童発達支援センターなど、専門機関での研修の受講を行っている。	
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	個人情報保護の為、行っていません。	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域活動にはイベントの時に参加し、近隣公園へ花を植える活動を行っている。	
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	保護者との面談の時に伝えていく。	はい100%	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者との面談の時にお伝えしている。		
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者との面談の時にお伝えしている。		
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	電話や面談、連絡帳を通して、共有している。	はい100%	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	電話や面談、連絡帳を通して、共有している。	はい88%、どちらともいえない12%、いいえ0%	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者の要望により行っている。不定期ではあるが、季節の変わり目に行えるように取り組んでいる。	はい98%、いいえ2%	令和2年4月2日に行いました。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対策マニュアルを作成し、契約時に苦情窓口を設置している。苦情等があった場合は迅速に対応をしている。	はい94%、どちらともいえない6%、いいえ0%	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	視覚支援を行い、個々にあったコミュニケーションを実施している。	はい94%、どちらともいえない6%、いいえ0%	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	予定表を発行し、行事予定の情報を発信している。	はい94%、どちらともいえない6%、いいえ0%	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の保護を徹底している。	はい94%、どちらともいえない6%、いいえ0%	
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時、防犯、感染症対策のマニュアル作成している。	はい88%、どちらともいえない6%、いいえ6%	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に1～2回訓練の実施を行っている。	はい82%、どちらともいえない12%、 いいえ6%	
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止マニュアルを作成し、適切な対応を行っている。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	十分な説明を行い、計画への記載を行っている。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物やその他のアレルギーを保護者から確認し、適切な対応を取っている。		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットを作成、事業所内で共有している。		